

令和7年度 第1回駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

【日 時】 令和7年6月25日（水）午後1時30分～

【場 所】 駒ヶ根市役所 本庁舎 3階 第5会議室

【出席委員】 17名（欠席：伊東委員・堀越委員・新倉委員）

1 開 会

2 委嘱状交付

3 自己紹介

4 会長あいさつ

- 国では令和7年度から9年度を「交通空白解消・集中対策期間」と位置づけ、「交通空白解消」本部の設置や、「交通空白解消」官民連携プラットフォームの立ち上げなどの取組を行っている。本市としても、上記プラットフォームや全国自治体ライドシェア連絡協議会に参加し、「地域の足」「観光の足」の確保に向けて取り組んでいる。
- 現在策定中の地域公共交通計画が最終年度となる。これまでの事業を評価・検証を行い、次期計画に反映させていく。
- 「公共ライドシェア」「山麓周遊バス」の実証実験を今年度も行う。地域住民や観光客のニーズに応える交通の仕組み作りに取り組んでいく。

4 協議事項

（1）令和6年度事業

- ①事業報告
- ②決算報告・会計監査報告
- ③こまタク運行実績
- ④運転免許証自主返納支援事業実績
- ⑤割引タクシー券・福祉タクシー券実績

資料1

資料2

資料3

資料4

資料5

資料6

資料7

（質問等なし） ⇒ 全員挙手（承認）

（2）駒ヶ根市地域公共交通計画 設定目標に対する評価

資料8

村瀬委員より意見

・観光客や交通弱者に対しての交通は徐々に充実してきたように感じるが、もっと幅広い層（高校生等）の移動についても検討してほしい。循環バスなど、「調整中」ではやっていない言い訳に感じてしまうので、市報などで進捗を公表してはどうか。

⇒（事務局より回答）

・循環バスについては、バス・タクシー事業者様と協議を進めている段階。高校生の移動については、難しい部分が多く、親の送迎や自転車移動に頼っている状態である。

・新宮川岸地区に建設予定の竜東振興拠点施設の計画内に、交通の結節点となるような機能を入れ込む意見も出ている。一体的に検討を進めていきたい。

（ほか質問等なし）⇒ 全員挙手（承認）

（３）令和７年度事業関連

①駒ヶ根市公共ライドシェア実証実験（案）

資料９－１

９－２

資料９－３

②駒ヶ根市公共ライドシェアシステム実証実験業務委託（案）

資料１０

③駒ヶ根市地域公共交通計画策定業務委託（案）

資料１１

下平委員より質問

・ライドシェア実証実験において、加入する車両保険は営業用の保険か。

⇒（事務局より回答）

・ライドシェア専用の保険に協議会が加入予定。

（ほか質問等なし）⇒ 全員挙手（承認）

５ 報告事項

（１）山麓周遊バス実証実験

資料１２

（２）駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画について

資料１３

（３）いいちゃんバスの利用状況について

資料１４

（４）駒ヶ根市ドライバー人材確保支援事業について

資料１５

６ その他

・みすずハイウェイバスについて

（長野県企画振興部交通政策課より情報提供）

・県では、みすずハイウェイバスを４往復から７往復に増便する２年間の実証実験を行っている。

・４月、５月においては、目標値に届いていない状況である。

・地域別部会等において、利用促進や利便性向上の取組を実施する予定。多くの皆さんに利用して頂

きたい。

(長野運輸支局より情報提供)

・国では、「交通空白解消」本部の設置や様々なメニューの補助金を用意している。積極的に活用頂きたい。

7 閉 会